

中間市第 5 次総合計画（素案）に関する修正箇所一覧（第 4 回審議会）

No	頁	項目	修正前	修正後
1	11	将来像	<p>豊かな水源とともに織りなされた歴史と文化のもと市民が希望を抱く「<u>夢のあるまち なかま</u>」</p> <p>（中略）</p> <p>1977（昭和 52）年に制定された市民憲章は、市民みんなで約束ごとを作り、みんなでこの決まりを守り、「豊かなまちづくり」を進めていこうというものです。「豊かなまちづくり」には「住みたくなるまちづくり」の意味が込められており、その指標とされるべきものとして、心に潤いを持たせ、豊かな心を育てていくための手がかりを見つけてくれるものとされています。</p> <p>この「住みたくなるまちづくり」を目指すには、<u>中間市に「夢」が持てるまち、「夢」が詰まったまち</u>であるべきだと考えています。</p> <p>中間市民が願う市民憲章を基本に、<u>将来像の実現に向け、自然環境や立地を活かしながら、温故知新を旨として、経済や社会の変化に即し、限られた行政資源を有効活用しつつ、将来に亘って持続可能な「夢のあるまち なかま」</u>を目指したまちづくりを進めます。</p>	<p>豊かな水源とともに織りなされた歴史と文化のもと市民が希望を抱く「<u>夢がかなうまち なかま</u>」</p> <p>（中略）</p> <p>1977（昭和 52）年に制定された市民憲章は、市民みんなで約束ごとを作り、みんなでこの決まりを守り、「豊かなまちづくり」を進めていこうというものです。「豊かなまちづくり」には「住みたくなるまちづくり」の意味が込められており、その指標とされるべきものとして、心に潤いを持たせ、豊かな心を育てていくための手がかりを見つけてくれるものとされています。</p> <p>この「住みたくなるまちづくり」を目指すには、<u>中間市は「夢」がかなうまち、「夢」をつかめるまち</u>であるべきだと考えています。</p> <p>中間市民が願う市民憲章を基本に、<u>豊かな自然環境や立地を活かしながら、温故知新を旨として、限られた行政資源を有効活用しつつ経済や社会の変化に対応していく、将来に亘って持続可能な「夢がかなうまち なかま」</u>を目指したまちづくりを進めます。</p>
2	22	政策 3 「産業」	<p>地域活性化に向け、雇用の安定と拡大を目指す上で、魅力ある多様な就業の機会を創出することは重要です。そのためには、<u>市内で市民の満足度が高い商業の集積や、若者が定住できる就業の場の確保に向けた企業の誘致、既存企業定着の支援、創業の支援、付加価値の高い農業製品の生産による安定した就農基盤の整備など、各種産業の振興を図る必要があります。</u></p>	<p>地域活性化に向け、雇用の安定と拡大を目指す上で、魅力ある多様な就業の機会を創出することは重要です。そのためには、<u>就業の場の確保や商業集積など、職住が近接し、生活利便性の高い環境を整えていくことが重要です。これに向けて、企業の誘致、既存企業定着の支援、創業の支援、付加価値の高い農業製品の生産による安定した就農基盤の整備など、各種産業の振興を図る必要があります。</u></p>
3	22	政策 4 「保健福祉」	<p>本格的な人口減少社会が到来し、急速な少子・高齢化社会へと変化する一方で、核家族化の進展、地域のつながりの希薄化が指摘され、<u>多様な子育て支援サービスの充実に対する</u>諸課題は、明確に顕在化してきています。一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、子育て支援策の充実・強化を図る必要があります。</p> <p>また、高齢化の進行に伴い介護需要が高まること<u>が想定されており</u>、市民の健康増進に関する意識を高め、運動や食生活などの生活習慣の改善、健診などによる早期発見・早期治療を促し、介護予防事業の充実を図るなど、健康増進と医療費の適正化に努める必要があります。</p>	<p>本格的な人口減少社会が到来し、急速な少子・高齢化社会へと変化する一方で、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化が指摘され、<u>子育てや高齢者福祉に関する</u>諸課題は、明確に顕在化してきています。<u>このため</u>、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、子育て支援策の充実・強化を図る必要があります。</p> <p>また、高齢化の進行に伴い<u>医療や介護の</u>需要が高まること<u>が想定されていることから</u>、市民の健康増進に関する意識を高め、運動や食生活などの生活習慣の改善、健診などによる<u>病の</u>早期発見・早期治療を促し、介護予防事業の充実を図るなど、健康増進と医療費の適正化に努める必要があります。</p>

4	23	政策5「教育」	<p>社会構造が大きく変化し、将来を予測することが困難な時代を迎え、市民には、自分の良さや可能性を認識するとともにあらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、<u>豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められています。</u></p>	<p>社会構造が大きく変化し、将来を予測することが困難な時代を迎え、市民には、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越え、<u>持続可能な社会の創り手となって豊かな人生を切り拓き共に歩むことが望まれます。</u></p>
5	24	政策6「安全安心」	<p>6月から9月ごろまでの梅雨期や台風時期は災害に備え、関係機関と協力し、警戒に<u>当たっています。一方で、近年は、突発的かつ局地的な集中豪雨が頻発するようになり、その対応が</u>求められています。</p> <p>(中略)</p> <p>また、少子高齢化、核家族化の進行に伴い、<u>空き家の増加や高齢者を狙った犯罪の増加、高齢者が関わる交通事故への対策も重要となっています。</u></p>	<p><u>気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害等から市民の命と暮らしを守るためには、防災・減災の取り組みをさらに強化する必要があります。</u></p> <p><u>現在、6月から9月ごろまでの梅雨期や台風時期は災害に備え、関係機関と協力し、警戒に当たっていますが、近年は、突発的かつ局地的な集中豪雨が頻発するようになり、より迅速な対応が</u>求められています。</p> <p>(中略)</p> <p>また、少子高齢化、核家族化の進行に伴い、<u>管理不全となる空き家、高齢者を狙った犯罪、高齢者が関わる交通事故等、安全・安心に関する懸念事項が増加傾向にあり、これらへの対策も重要となっています。</u></p>
6	24 ～ 25	政策7「行政経営」	<p>本市が抱える行政経営上の課題として、<u>再任用職員・会計年度職員の増加等による</u>市政運営体制の脆弱化、財政構造改革の遅延、公共施設の老朽化、新型コロナウイルスの感染拡大による影響への対策等が挙げられます。</p> <p>(中略)</p> <p>また、老朽化が進む公共施設について計画的な長寿命化や統廃合などを十分に検討した上で推し進めていく必要があります。</p> <p><u>上記課題を踏まえた「自立・協働・効率」の三つの視点に基づく施策の実施による「将来にわたって持続可能なまち」を目指したまちづくりを推進することで、各政策の推進や各政策間の調整を図ります。</u></p>	<p>本市が抱える行政経営上の課題として、市政運営体制の脆弱化、財政構造改革の遅延、公共施設の老朽化、新型コロナウイルスの感染拡大による影響への対策等が挙げられます。</p> <p>(中略)</p> <p>また、老朽化が進む公共施設については、<u>限られた予算の中で、適切に維持・管理していくために、</u>計画的な長寿命化や統廃合などを十分に検討した上で推し進めていく必要があります。</p> <p><u>上記課題を踏まえ、「自立・協働・効率」の三つの視点を基本として、各部門間の調整を図りつつ政策を推進することにより「将来にわたって持続可能なまち」の実現を目指します。</u></p>